

会 議 録

1 会議名

令和8年度 第1回三郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○自主的な審議（公開）

- ・三郷区の人や自然など美しい風景の魅力発信について

3 開催日時

令和8年4月23日（木） 午後6時30分から午後7時30分まで

4 開催場所

三郷地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名

- ・委 員：保坂会長、片山副会長、小山副会長
稲葉（恵）委員、梅川委員、和田委員、渡部委員（欠席者5人）
- ・事務局：南部まちづくりセンター 稲田所長、小池副所長、荒川係長

8 発言の内容

【小池副所長】

- ・ 稲葉（里）委員、上原委員、小竹委員、竹内委員、竹田委員を除く7人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は保坂会長が務めることを報告

【保坂会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：稲葉（恵）委員、渡部委員に依頼

【保坂会長】

次第2 自主的な審議「三郷区の人や自然など美しい風景の魅力発信について」に入る。まず、3月29日に開催した写真の撮り方教室について振り返りたい。当日の出席人数は、地域協議会委員が7名、一般参加者が8名であった。人数が集まらないかと思ったが、ちょうどいい人数で、私も写真の構図の基本から教えていただけてとてもありがたかった。時間は1時間半だったが、講師の方がお話ししたいことが沢山あるようだったので、もう少し時間を長く設定すればよかったかと思っている。参加された委員から、ここが良かった、ここは次回あれば工夫してほしいといった点があれば、感想や意見をいただきたい。

【稲葉（恵）委員】

一眼レフのカメラについてがメインだったが、一眼レフを持っている方はあまり多くなくて、もう少し、スマホを中心とした写真の撮り方の説明が欲しかったという感想である。少々レベルが高すぎると感じた。ただ、展覧会に出された、講師が撮られた素晴らしい写真を拝見できたのはとても良かった。

【小山副会長】

私の感想としては、もっと実践に向けた教室をイメージしていた。自分で撮りながら「こうした方がいい」「ああした方がいい」といった指導を想像していた。説明が長く時間を大幅にオーバーする感じではあったが勉強になった。講師の方の写真を見ながら、構図一覧の資料と合わせながら話を聞いたので、この構図を考えながら自分も写真を撮るときに参考にすればいいと思った。やはり、スマホの撮り方を教えて欲しかった。

【片山副会長】

私もスマホしか持っていない。毎年桜を撮っているのだが、今回の教室を受けてから今年はまだ桜が咲いていたので、神社の桜を去年とは少し違う方法で試してみた。私にとっては有意義な講座だった。スマホでも、遠くにある被写体にタッチすれば遠景に、手前の桜にタッチすれば手前にピントが合う。ただどちらがいいかは

自分でもまだ判断できないが、いろいろな撮り方を試させてもらって良かった。もう一つは、同じ町内の方が出席されていて、この前も顔を合わせたら写真の撮り方について会話ができた。今後もそういうつながりができて、私より十幾つも年上の方だが、そういう会話ができたこともよかった。

あと、今度撮った写真を先生に見てご意見いただける機会を設けていただけると言われたので、恥ずかしながら、もし可能であれば、そういう時間を今後検討していただけると面白いと思った。

【保坂会長】

今回の講師をお願いするときに、私も素人なのでほとんどスマホしか持っていないと話したが、私たちの思いと受け手側の思いがうまくかみ合わないことがあったかもしれない。しかし、今回はボランティアで、友達の方も来ていただき、自分も知らない、いろいろな話を聴くことができた。次回につなげるために、今回の反省をふまえてまたやっていきたいと思う。あと、欠席した方もいたが、この企画について今後につなげるための意見や要望があればお願いしたい。

【渡部委員】

私は欠席だったが、確かに写真の撮り方となれば、一眼レフとかになるのかもしれないが、スマホで簡単に撮るのが当たり前になってきていると思う。スマホで撮った写真はそのままデータとして使われることが多い。それをどう印刷したらきれいになるのか、私も分からず撮った写真をコンビニで印刷すると色がにじんでしまうことがよくある。紙を変えればいいのかもわからないが、そうした知識がなく、撮り方とあわせて印刷の方法があれば、次に写真を撮ったときに「これで印刷してみようかな」と思えるのではないかと考える。

【和田委員】

こういう講座に行ったとき、アンケートがあれば「こういう意見が出ていたので、次はスマホの使い方を講義にしてほしい」という要望につなげやすかったと思う。受講生がどういう反応だったかも知ることができればよかったのかと思った。

【梅川委員】

皆さんのお話を聞いて、内容が一眼レフの撮り方だったのかなと想像できた。や

はり皆さんがおっしゃるように、スマホの方が何もしないでも普通に写真が撮れるので、そこから更にきれいにするには、スマホに詳しい人、というより若い人のほうがそういうテクニックを持っていることが多いので、そういう人を探すのもいいと思った。うちの子どものほうが携帯の使い方をよく知っている。写真も加工したりできるので、そういうのも合わせて次の機会にできればいいのかなと思った。

【保坂会長】

今回の講師には11月、秋の時期にミニレクチャーをしていただきたいと考えており、その時は謝金も予算化してあるのでお願いして、皆さんが撮った写真をまた見ていただいてコメントをいただければいいと思った。実は、その後に地域でインスタとか動画とか撮っている方がいるという話を聞いて、講師の方が代わると話の内容も違うし、集まってくる人たちも変わってくるので、いろんな方のお話を聞くのも大事だと思った。まだ何も交渉はしていないが、来年あればそういう方をお願いするのも、皆さんの知識が増えてよいかかなと思っている。梅川委員のおっしゃる内容もあるので、そういうので楽しくできるかと思っている。

では、実際のこの三郷の写真展の件で、具体的に決めておかなければならないことがあるので、事務局から資料1について説明を求める。

【小池副所長】

- ・資料1について説明

【保坂会長】

ただいま事務局から説明があった。具体的な内容やスケジュールについて順番に協議していきたい。主催は今まで予算がなかったなので、三郷まちづくり振興会にお願いして進めてきて、地域独自の予算事業の提案は三郷まちづくり振興会で行った。しかし、実際には私たちが運営するので、主催は実行委員会名で行いたいと思うが、いかがか。運営は私たちの地域協議会で、三郷まちづくり振興会の方からは、市独自の予算は新規事業の場合7割しか補助していただけないため、残りの3割は当方の持ち出しになるが、その部分を補助していただく。また、写真の受け入れ事務作業をお願いするということがあったりして、共催という形で三郷まちづくり振興会に入っていただくという形で、2年目は提案したい。

【和田委員】

名前だが、この「三郷の写真展」だけをやる、という印象にとらわれてしまうかもしれないので、他のこともできるから、もうちょっと大まかな名前でもいいのかなと思う。写真展に限らずいろんなことをやっていくなら、今すぐには思いつかないが、「みてみて三！！魅力発信実行委員会」のような名前の方がいいのではないかな。

【保坂会長】

あとで具体的にどんなものをやりたいか皆さんで話すが、これまでの話の中で、体育館を借りるならこんな形のものと一緒にやりたいよねという案が出てきた。そういうイメージを持ちながら、写真展をメインにしてそれに合わせて、いろいろなことを一緒にできればいいという意見は、これまでの話し合いで出てきた。

他に意見はないか。

【稲葉（恵）委員】

他のことをやるとしても、運営は地域委員会でやるので、名称にそれほどこだわらなくて、写真展の実行委員会でいいと思う。

【小山副会長】

どちらの意見も、なるほどと思ったが、これから写真展だけじゃなくいろんなものを発信していくなら魅力発信実行委員会が適切だが、この「みてみて三郷」の写真展のみで言えば写真展実行委員会でいい。

【片山副会長】

私は主催は写真展実行委員会でいいと思う。この写真展をやる趣旨、その上にある目的、何のためにやっているのかという部分は、写真を集めて三郷の魅力を伝えることであり、三郷から出た人から戻ってきて貰いたいという気持ちもある。あとは、写真展の会場に人を集めるための何かという部分が、加わってくればいい。

【保坂会長】

前段の意見は三郷の魅力を発信するという企画を広げるので、魅力発信という言葉がいいということであったが、後段の意見は写真展を中心に地域をつなぐ活動を行うということで、写真展という名称にしてはどうかということであった。

今年度は写真展ということで進めてはどうか。あまりここにこだわっていても時間をもったいないので、結論を出したいと思う。よろしいか。

【和田委員】

今日は欠席者が多いので、みんな知らない間に決めるのはどうなのか。そんなにこだわることはないのか。

【保坂会長】

来年度また考えることにして、主催名は決めたいので、挙手にて決をとる。「みてみて三郷！！魅力発信実行委員会」が良いと思う委員の挙手を求める。

(賛成少数)

次に、「みてみて三郷！！写真展実行委員会」が良いと思う委員の挙手を求める。

(賛成多数)

では、今年度は「みてみて三郷！！写真展実行委員会」という名称でとりあえず進めさせていただき、チラシや案内を工夫しながらピーアールしていきたい。運営については地域協議会員とボランティアで対応したいと考えている。

時期についてだが、小学校の行事や私の都合もあり、一応この日でどうかと提案させていただく。旧三郷小学校の体育館はこの時期空いていると、南部まちづくりセンターから確認をとってもらった。皆さんのご都合はいかがか。

(意見なし)

また前回と同じように、委員の分担を決めて、どちらかの日に都合をつけていただき、担当していただくという形で、2日間びっしり朝から晩までという形はないようにしたいが、いかがか。

【稲葉（恵）委員】

去年は閉校の話をしてしたが、今回は抱き合わせするものはないのか。

【保坂会長】

抱き合わせするものが何もないので、早めにピーアールして、私たちだけではできないので、地域にある小さなグループや団体の方に協力をお願いしたい。その人たちとコラボしながらやれたらいいかと思っているだけで、まだ実際にはお願いしてはいない。

【稲葉（恵）委員】

なかなか写真展だけで来てくれるかという不安があるので、何か工夫した方がいいと思う。

【保坂会長】

旧三郷小学校のアルバムや文集については、前任の教頭先生にお願いして校長室に残しておいてもらい、見るができる形にしてある。これらを、じっくり見たいという人たちもいたので、そういうこともいいかと思う。

時期についてよろしいか。

（異議なし）

では、時期は去年と1週間違うだけなので、募集期間について、去年は7月から10月10日だったが、今年も同じでも大丈夫か。いろいろ展示の準備の時間もある。

【渡部委員】

作品募集は6月の広報と一緒にチラシ配布をするが、これ以降は配布しないのか。

【保坂会長】

ピーアールの方法でもう一回考えた方がいいのではということで、去年は班回覧をしたが、それもどうかなと思うので具体的なところは相談させていただきたい。とりあえず募集期間がこれでよければ、チラシと募集要項のセットを各家庭に1回配るということでよろしいか。

（異議なし）

せっかく1回目はとても素敵なチラシを作ったので、基本的にはこのカラーの形で、パッと見て写真展の話だとわかるようなスタイルでやりたい。ただし、載せる写真については、みんなで相談をしたい。文言も変わってくるので、基本的にはあまりこういうところに労力をかけずに進めたいと思っている。今話し合ったように、2回目の回覧については検討事項だと思っている。梅川委員いかがか。募集要項も含めて意見はないか。

【梅川委員】

去年初めてやって、今年2回目とガラッと変えてしまうと、また、違うものと思

われるので、基本は去年と同じ形で、また今年もやるんだなという意識づけと定着を含めれば、ほぼ去年と同等の内容でいいのではないかと思う。

【保坂会長】

ほかの方はいかがか。

【渡部委員】

今回、写真の条件だが、「1人3枚」という条件を一旦外してみてもどうか。去年は初めてだったが、このチラシは多分1回しか配布していなくて、配ってから募集開始までの期間が空いていて枚数が集まらなかった。一人3枚制限をなくしてどれだけ集まるか試してみてもいいのではないかと思う。せっかく体育館を使うので、パネルの数には限りがあるが、そういうのはどうか。

【和田委員】

パネルの数だと何枚くらいの写真が貼れそうな感じか。A4サイズであれば、どれくらいか。

【保坂会長】

去年は小さい写真が多かったが、使用したパネルは10枚であった。作品数が増えても体育館なので、壁面を使うことも可能である。

【小池副所長】

展示パネルは並べ方によっては、両面を使うことも可能である。

【保坂会長】

展示パネルを裏表つかえれば展示数は倍にできる。

【渡部委員】

作品は少ないよりは多いほうがいい。同じ人が何枚か出していただいても、誰が何枚出したか、出した人しかわからない。その写真自体で、来場者の話題が盛り上がれば、コミュニケーションとしては大成功だと思うので、多ければ多いほうがいいのかなという気がする。

【保坂会長】

1人3枚の制限をなくして募集するか。

(異議なし)

では、1人3枚の制限をなくして募集する。あまり大量にはならないと思うが、大量に集まったら相談するという形で進めたい。他に意見はないか。今日は人数が少ないので、後で修正できる点があれば、その時に皆さんと相談して進める。

本日は主催者名称の確認と日程の決定を行い、募集期間のピーアール活動については2回目のチラシは要検討とする。写真の条件は、1人3枚という制限をなくしてみる。基本的には去年と同じような募集要項の項目で進めるということで確認した。

では、次に時間はあまりないが、具体的な内容について話し合いたい。今までも写真展のほかに「こんなことをやりたい」「あんなことをやりたい」という案があったが、それを皆さんで時間の許す限り具体的に話し合いたいと思う。まず隣同士で2～3分話し合ってもらいたい。

—隣の席同士で話し合い—

【保坂会長】

では時間が少ないが、写真展のほかに、こんなことができたらいという案が何点か出てきたと思うが、いかがか。

【渡部委員】

椅子と机と飲み物で、ちょっと思い出を語れる喫茶スペースがあれば嬉しいと思う。

【稲葉（恵）委員】

写真展の中で何かやらなきゃダメだと思う。寂しい感じになる。

【渡部委員】

昨年、委員は座っていたから楽だったが、来ている人は立って作品を見て、そこで思い出話に花が咲いていた。来ている人は高齢の方が多かったので、少しゆっくりしていてももらえればいいかなと思った。

【保坂会長】

以前話したとき、こたつを設置するという意見があった。ちょっと寒くなってく

るのでどうか。

【稲葉（恵）委員】

暖房は用意できるのか。

【保坂会長】

体育館には、今までは大きなヒーターがあったが、もう無いので下にシートか何かを敷いて、こたつを設置するのもよいか。

【和田委員】

3月に公民館で文化祭をやったように、小学生の出し物や春駒など、三郷の人に時間を設定して何分間か出し物をしてもらったり、あとはフリーマーケットをやるのはどうか。三郷の団体の紹介の写真スペースを作り、それを順番に紹介してもらうのもいいと思う。

ほかは、体育館の広いスペースがあるので、竹灯籠やフラワーアレンジメント、皮細工をやっている地域の人に来てもらって、ワークショップをやったらいいと思う。また、キッチンカーという意見も出た。

【小山副会長】

弁当販売や、喫茶であれば、地域にコーヒーを入れるプロがいるので、その人に入れてもらったりするのはどうか。文化祭の昔のバザーのようなイメージである。あと、地元飲食店のとん汁とかもいい。

【梅川委員】

人を集めるという点で、フリーマーケットはいいと思った。ENJOY35がやられていると聞いたので、ENJOY35も仲間に入れて開催したらどうか。去年は2日間で、閉校記念行事と合わせて行い、あのくらいの来場者数だったので、もっとピーアールや集客方法を考えないと人がなかなか来にくいと思う。キッチンカーは呼べば来てくれるのか。お金はかかるのか。

【渡部委員】

ある程度の収益が見込めないと呼べない。

【和田委員】

買ってくれる個数など交渉次第である。

【梅川委員】

城西中学校の前にキッチンカーを見かけるが、人が買うのかなと思う。キッチンカーは、どこでも来れる訳ではないのか。

【渡部委員】

場所によるのではないか。上越祭りとかで来ているキッチンカーなどは結構長岡の人が多い。ある程度収益が無いと、キッチンカーによって違うと思うが交渉になる。

【小山副会長】

キッチンカーでもクレープとかだったら売り上げが出そうだ。

【和田委員】

前に交渉したときに「80個確保できれば」といった話があった。
(「80個はいけるのではないか」との声あり)

【渡部委員】

会場にキッチンカーが来れば、興味がわいて行こうかなとなる気がする。

【保坂会長】

観桜会に出ているクレープ屋で知り合いがいる。極楽橋を渡ったところだ。

【稲葉（恵）委員】

クレープが来れば、子どもでも行きたくなると思う。

【小山副会長】

あと、前回の反省ではBGMが欲しいという意見があった。

【渡部委員】

去年は途中から携帯電話でBGMを流して、いい雰囲気になった。何か流れているだけで雰囲気は全然違う。

【保坂会長】

見て聞いて味わう感じで、五感もフルに活用していきたい。片山副会長いかがか。

【片山副会長】

三郷の地域のグループ紹介の関係では、まず写真を集める必要がある。地域の中では、三郷まちづくり振興会の16の団体がいるので協力してもらいたい。写真展

は地域協議会がやっているのだから、三郷まちづくり振興会の中のメンバーも、もっと参加しようよ、協力しようよというような雰囲気づくりをしながら、いっぱい写真を出してもらいたい。三郷まちづくり振興会が何をしているかをピーアールしたかったら、今回の写真展と一緒にピーアールしてもいいのではないかな。16団体もあると、なかなか活動が分かりにくいと思う。春駒は分かるが、それ以外の活動についても、知ってもらえたらいいのではないかな。写真展については、若い人からも出してほしい。写真をやっている人は年齢が高いことが多いので、三郷まちづくり振興会の中の若い人は、グループの中にも結構いると思うから、写真を出してもらったらいいと思う。

【渡部委員】

各グループの内容が分かると、世代交代というほどではないが、同じ委員が重なって多重業務になっているとのことなので、こういう活動をしていると分かれば新しい人が入ってくるかもしれないし、グループに入っていない人たちにも知ってもらえれば負担が少し軽くなるかもしれない。

【片山副会長】

あと、高校生から20代の方々が来場するような何かがほしい。あの年代が来てもらえて、もし写真展が今年よりずっと多くなっているんなものがあれば、写真を見に来なくても、その先のイベントに参加したくなるような感じがあって、見て帰っていつか記憶に残っているといい。多分、若い人は自分の住んでいる町内しか知らないと思う。ちょっと離れてみると、妙高山がすごくよく見えるなど、そういう認識を深めてもらえばいい。

実はこの前、公民館の研修に参加したときに、衰退している公民館の中で若い人をターゲットにした取り組みの話があった。彼らは、若い子はみんなラインでつながっているのだから、「ここへ行くと楽しいよ」という情報を流すことでみんな集まって来た。そして、来てみたら面白かったと、町の活性化で若い人たちも参加できたと言われた。その年代の人たちが少しでも関わっていくことが、将来的にいい結果につながるのではないかと思いついた。

【保坂会長】

私も三郷まちづくり振興会の役を務めているが、5月に総会を開くために三役で話しているときに、町内会長たちは、60代から70代の人たちが多く、町内や地域のことを考えているが、同時に20代、30代、40代の若い人たちが育つ三郷でなければいけないという話をした。若い人たちが活動できるように予算を立ててもらえるように提案して、三郷まちづくり振興会の総会にかけようと思っている。本当に次の世代を担う人たちが自分の地域をよく思い、外へ出てでもまた帰りたいと思ったり、そこにずっと住み続けなくても自分の育ったところがいいと思ってくれるような企画をしていきたいと思っている。

あと、言い足りないところはないか。これを次回、具体的にどんな感じで進めていくか、どこに協力してもらうかを検討したい。やるべきことがたくさんある。その辺を今日の欠席者も含めてプラスアルファの意見を集めたい。次回はそのようにやっていきたい。

— 次第3 その他 —

【保坂会長】

次第3 その他に入る。

今日の発言の中にもあったが、私の考えとしては、写真展の準備もやりつつ、私たちの任期は2年が終わって3年目に入っていくので、この地域協議会でほかに話し合いたい点について議論できればと思う。

三郷地区の運動会が6月14日に開かれるということで、皆さんもお聞きになっているかと思う。体育振興会は地域づくりや仲間づくりの視点で活動している。その点も含めて、次回、地域協議会で話し合いたいことを出し合いたいので、それまでに皆さんの方で考えておいてほしい。

事務局から何かあるか。

【小池副所長】

- ・ 第2回地域協議会：5月28日（木） 午後6時30分から 三郷地区公民館
- ・ 第3回地域協議会：6月25日（木） 午後6時30分から 三郷地区公民館

【保坂会長】

全体を通して何か質問はないか。

(質問なし)

今日配られた、地域運営組織に関する連続セミナーの見返し動画配信についての案内の中で、見てほしいのは4番目と5番目である。4番は村上の奥の方の地域で若者が頑張れるように60代、70代の人たちが支援して、お金の予算をつけて、どんどん活動していけるような仕組みができているという話を聞いた。5番目の「持続可能なまちづくりの地域組織の在り方」は全般的な内容で、藤山所長から全国的な話が多く出ていたので、自分の興味のあるところからぜひ1本でも2本でも、長ければ飛ばしながらでもよいので見て欲しい。

本日の議題は全て終了した。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail: nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。